

2017ふゆトピア・フェアin函館

開催日 2017.1/26(木)・27(金)

開催場所 北海道 函館市

・函館市民会館(湯川町1丁目32番1号)
・函館アリーナ(湯川町1丁目32番2号)
・函館競馬場駐車場(深堀町21番19号)

函館に集う ヒト・モノ・技術から
北の暮らしのイノベーション

開催報告書



平成29年3月

2017ふゆトピア・フェア in 函館 実行委員会

2017ふゆトピア・フェアin函館

はじめに

平成29年1月26日(木)～27日(金)の2日間にわたり、北海道函館市(函館市民会館、函館アリーナ、函館競馬場駐車場)において「2017ふゆトピア・フェアin函館」を開催しました。2日間にわたる参加人数は、延べ約5,150人と多くの方々に参加いただき、盛況のうちに終えることができました。

「ふゆトピア・フェア」としては、札幌や旭川などでこれまで10回開催してきたところですが、函館での開催は今回が初めてでした。

当日は、「オープニングセレモニー」を皮切りに、「ふゆトピアシンポジウム」、「ふゆトピア研究発表会」、「ふゆトピア展示会」、「除雪機械展示・実演会、競技会」、「ふゆトピア交流会」などが開催されました。

本報告書では、各催しにおける開催状況について報告いたします。



【函館市民会館】



【函館アリーナ】



【函館競馬場駐車場】



オープニングセレモニー

オープニングセレモニーは、各催しに先立ち、平成29年1月26日(木)9:30より、函館アリーナにて開催しました。2017ふゆトピア・フェアin函館実行委員より、式辞を述べたほか、実行委員の紹介やテープカットを実施しました。

式辞では、今日出人 国土交通省北海道開発局長から「ふゆトピア・フェア」の趣旨・目的のほか、フェア全体を通じて活発な意見交換や情報発信が行われることへの期待について、辻泰弘 北海道副知事からは、「ふゆトピア展示会」を通じて北国ならではの技術や生活の改善への貢献について、工藤壽樹 函館市長からは、本フェアを通じてふゆの魅力を活かした地域づくりについての様々な意見を、函館のまちづくりに活かしていきたい、などが述べされました。

テープカットでは、本フェアの各催しに参加される方々にも参加いただき、執り行いました。

「ふゆトピアシンポジウム」を代表し、津山睦さん(道の駅みそぎの郷きこない 観光コンシェルジュ)、「ふゆトピア研究発表会」を代表し、中前千佳さん(一般社団法人 北海道開発技術センター 調査研究部 研究員)、「ふゆトピア展示会」を代表して柴尾幸弘さん(理研興業株式会社 代表取締役副社長)、「除雪機械展示・実演会、競技会」を代表して岸本初恵さん(株式会社ネクスコ・メンテナンス北海道)が参加されました。



【式辞】今 国土交通省北海道開発局長



【式辞】辻 北海道副知事



【式辞】工藤 函館市長



【テープカット】（左から、辻副知事、岸本さん、中前さん、津山さん、柴尾さん、今局長、工藤市長）

ふゆトピアシンポジウム

来場者数
約1,000人

ふゆトピアシンポジウムは、平成29年1月26日(木)に函館市民会館大ホールで「世界に目を向けた北国の観光」をテーマに開催しました。

シンポジウムの開催にあたり、今日出入 国土交通省北海道開発局長、工藤壽樹 函館市長(代読:齋藤章生 函館市土木部長)の主催者挨拶、森昌文 国土交通省技監による来賓挨拶を行いました。

基調講演では、イラスト레이ター、エッセイスト、俳人など多方面でご活躍されている吉田類氏をお招きし、「大人の好奇心を満たす旅へ～青函新時代に切り込む“旅人類”～」と題して講演いただきました。講演では、ご自身のこれまでの生い立ちや経歴のほか、北海道を含めた全国各地を周遊した時のエピソードについて紹介。

「観光が無限に広がって行くには、人間がどこまで日本列島の自然を美しいものにつくり上げていくか」ということがこれからかかっている、「北海道にはおいしいお酒がたくさんあるということを世界中に発信したい」など語られました。

最後には聴講者からの質問を受け付け、「良い居酒屋の見つけ方」、「函館ならではの食材でお酒に合う食べ物」などお酒に関する質問などがありました。



【主催者挨拶】
今 北海道開発局長



【主催者挨拶】
工藤 函館市長
(代読)齋藤 函館市土木部長



【来賓挨拶】
森 国土交通省技監



【基調講演講師】
吉田 類氏



【基調講演状況】



【函館市民会館大ホール】
約1,000人の来場者

パネルディスカッションでは、「世界に目を向けた観光地域づくりにあたっての北海道・東北・北陸の魅力ある地域づくり、連携・交流を考える」と題し、コーディネーターに奥平理氏(函館工業高等専門学校一般人文系 教授)、パネリストに阿部千春氏(北海道縄文世界遺産推進室 特別研究員)、角田周氏(津軽地吹雪会代表)、桑島繁行氏(知床北こぶしグループ(株)知床グランドホテル/(株)知床プリンスホテル 代表取締役社長)、小林昌子氏(南魚沼女子力観光プロモーションチーム 設立者・初代リーダー)、津山睦氏(道の駅みそぎの郷きこない 観光コンシェルジュ)をお招きし議論しました。

はじめに、コーディネーターから、「各パネリストの地域では雪をどのように捉えているか、また、どのような冬場の観光振興に向けた取組みを行っているか」について提起がありました。

各地域では、雪は厄介者だと捉えられている一方で、実は雪が降ることがこの地域に豊かな自然や文化が育まれてきていること、その雪や冬の寒さを活かした地吹雪体験ツアーや流氷ウォークなどの取組み、雪を利用して造られる越後上布など伝統文化の情報発信や寒中に行われる神事であるみそぎ祭りを観光振興に役立てることなど、多くの取組みが紹介されました。また、このような取組みを実施する上では、外国人観光客にも好まれる取組みを考えていかなければならぬとの指摘がありました。

続いて、「北海道・東北・北陸の各地域が今後どのように連携し、交流を深めていくべきか」についての議論がなされ、「地域ならではの文化の発信が、広域観光・地域連携に繋がっていく」や、「現在の繋がりというものを一度きちっと見直す」、「人同士の繋がりの深化」が必要などの意見がありました。

最後に、パネルディスカッションを総括して、奥平氏より、「雪の利用なども踏まえて、雪のある地域文化への自信を持ち、発信することが大事」と提言され、締めくくられました。



【コーディネーター】
奥平 理氏



【パネリスト】
阿部 千春氏



【パネリスト】
角田 周氏



【パネリスト】
桑島 繁行氏



【パネリスト】
小林 昌子氏



【パネリスト】
津山 睦氏



【パネルディスカッションの状況】

ふゆトピア研究発表会

来場者数
約400人

平成29年1月27日(金)、函館市民会館にて開催されたふゆトピア研究発表会では、「冬期に生じる災害の支援・復旧」「冬期のインフラ管理とICT・官民連携」「地域性を活かした冬期観光」を主テーマとして応募論文を集め、口頭発表希望論文全63編の中から選考した40編の論文について口頭発表を行いました。

口頭発表は、第1会場である小ホールと第2会場である大会議室の2会場で行われ、最新のICT技術である「除雪車両の運転支援システム」、「凍結防止剤の散布量を最適化する自動散布システム」の導入や、地域の活性化に資する「地元のイベント会場における除雪車両の展示会・試乗会」の取組みなどが発表され、一時は立ち見が出るほど盛況でした。

また、今回初めての取組みとして、同会場の展示室において「ポスターセッション」の区画を設け、全14編による、雪国ならではの「防雪柵」や「防雪盛土」の研究成果や冬期路面管理、除雪の取組み事例などの展示および担当者からの説明を行い、口頭発表会場と相乗して研究発表会を盛り上げてきました。

当日は、あいにくの大雨のなかでの開催となりましたが、研究発表会の来場者数は約400名にのぼりました。

アンケートによると、西は名古屋から北海道の稚内にかけての様々な地域から、官公庁・民間会社など様々な業態から、また年代も40代を中心として幅広い世代から聴講者が来場し、発表会場内は賑わいをみせておりました。



【口頭発表(第1会場 小ホール)】



【口頭発表(第2会場 大会議室)】



【ポスターセッション(展示室)】



【開会挨拶】

函館開発建設部 遠藤次長



【閉会・講評】

北海道開発局 池田調査官



【口頭発表の状況】

ふゆトピア展示会

来場者数
約2,100人

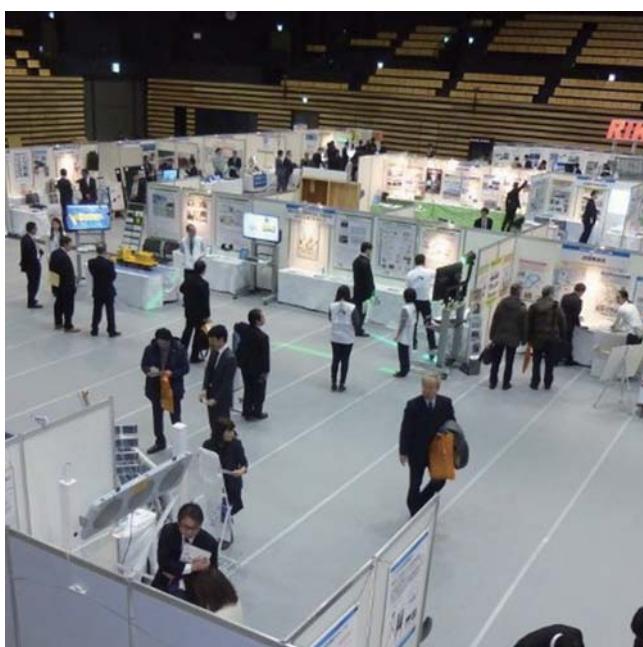
ふゆトピア展示会は、オープニングセレモニーに続き、「2017ふゆトピア・フェア in 函館」の各催しの先頭を切って、平成29年1月26日10時から2日間にわたって、函館アリーナ メインアリーナで開催しました。

当初の想定を大きく上回る出展申込みがあり、道内外から33の企業や団体（道内16企業、道外17企業）が出展しました。

出展した各企業・団体からは、路面状態の情報収集技術や最適な凍結防止剤散布のためのシステム、雪寒地域における最新の降積雪量計測や気象予測の技術、ドローンや3Dスキャナーという最新のi-constraction技術などが、パネルや模型により紹介され、冬期における生活環境や防災力の向上に資する積雪寒冷地技術や取組など、観光振興や地域活性化にも繋がる可能性のあるものとして、北国の克雪、利雪、親雪に関する情報を発信しました。

27日の午後には、函館工業高等専門学校の社会基盤工学科3年生40人の見学会を行い、生徒たちは、出展者から最新機器や先端技術の説明を受け、熱心に聞き入っていました。

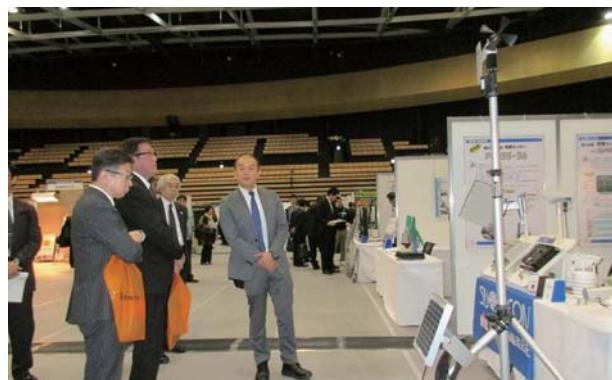
2日間で延べ約2,100名の来場があり、盛況に終わりました。



【展示会場】



【展示会開催状況】



【展示ブースの状況】



【展示ブースの状況】



【函館工業高等専門学校生見学状況】

除雪機械展示・実演会

来場者数
約 1,400 人

「除雪機械展示・実演会」は、平成29年1月26日(木)～27日(金)の両日、函館競馬場駐車場(函館市深堀町)にて開催しました。

開催にあたり、開会式(オープニングセレモニー)を行い、熊谷勝弘(一般社団法人日本建設機械施工協会北海道支部長)の開会宣言、辻靖三(同協会長)から主催者挨拶を行った後、宮武一郎氏(国土交通省総合政策局 公共事業企画調整課施工安全企画室長)、米田義弘(国土交通省北海道開発局事業振興部機械課長)、若山浩(北海道建設部建設政策局維持管理防災課維持担当課長)、福田厚武(函館市土木部次長)、出展者代表として、藤枝靖規氏(株式会社協和機械製作所代表取締役)、吉田幸雄(一般社団法人函館建設業協会副会長)、辻会長、熊谷支部長の8名によるテープカットで開幕しました。

道内外11社の企業が一堂に会し、除雪機械・装置25点の展示をし、最新の排ガス規制に対応した大型除雪機械やヨーロッパの新方式除雪機などを、来場された方々に広く紹介しました。また、そのうち5社が、大型のロータリ除雪車などによるデモンストレーションを実施し、豪快な作業の様子を通して除雪作業の重要性などについて情報発信しました。

2日間を通しての来場者数は、2日目にあいにくの大雨に見舞われたものの、延べ約1,400名と多くの方々が来場され盛況でした。中でも会場近隣の函館深堀保育園の園児20名が初日に会場を訪れ、大きな除雪機械の展示や実演を見学し、かわいい歓声を上げていたのが印象的でした。また、函館工業高等専門学校社会基盤工学科の生徒40名が来場され、除雪機械の展示・実演を見学し、道路を守る機械に興味津々の様子で会場を後にしました。



【除雪機械展示状況】



【除雪トラック展示状況】



【除雪機械実演状況】



【除雪機械展示・実演会開会式(テープカット)】



【除雪機械を見学する函館深堀保育園の園児たち】

競技会(除雪車チャンピオンシップ)

晴天に恵まれた平成29年1月26日(木)、函館競馬場駐車場(函館市深堀町)において、一般社団法人函館建設業協会と北海道開発局の共同開催で、競技会(第3回除雪車チャンピオンシップ)が実施されました。2011年札幌、2014年釧路に続き、今回の函館開催で3回目となります。

一般社団法人函館建設業協会が窓口として渡島・檜山地方の維持除雪業者へ参加募集を行い、同地域から10名の選手が競技会に参加しました。特に今回は、競技会で初めて女性オペレータの競技参加が注目を浴びていました。また、NEXCO東日本北海道支社より2名の歴代チャンピオンも参加し、総勢12名の選手で競われました。

開催にあたり開会式が行われ、米田義弘(国土交通省北海道開発局事業振興部機械課長)より主催者挨拶を行った後、選手を代表して阿部雄二氏(星組渡辺土建株式会社)による開会宣言で除雪車チャンピオンシップが開幕しました。

競技は、約200mの周回コースにおいて除雪ドーザを操縦し、機械の点検、ブレード操作性、路側追従性、操縦性、車庫入れの5つの種目で行いました。選手たちは、日頃培った除雪技術を発揮し、正々堂々と競い合いました。

競技中は、地元ケーブルテレビ局のMCと解説者が分かりやすく実況を行い、約320名の来場者が、除雪車チャンピオンシップの競技を固唾を飲んで見守りました。また、近隣の保育園児20名も来場し、迫力ある除雪車の競技を目の当たりにし、目を大きく丸くして声援を送っていました。

優勝者は、水島敏彦氏(株式会社相互建設(七飯町))、準優勝者には、永田拓也氏(株式会社鈴木組(北斗市))3位には、紺田勇斗氏(株式会社ネクスコ・メンテナンス北海道(札幌市))が入りました。

表彰式では、森川基嗣(一般社団法人函館建設業協会会長)より賞状とトロフィーが授与され、大勢の来場者、関係者が栄誉をたたえました。

表彰式の後、多くの報道陣から優勝者が取材を受ける中、成功裏に競技会を閉幕しました。



【開会式(主催者挨拶)】



【競技状況】



【競技状況】



【表彰式】

ふゆトピア交流会

来場者数
約 250 人

ふゆトピア・フェアに参加いただいた方々との意見交換や親交を目的として、平成29年1月26日(木)の夜には、函館湯の川温泉「花びしホテル」2階芙蓉において、ふゆトピア交流会を開催しました。

「函館巴太鼓」による力強い和太鼓演奏での歓迎の後、開催地を代表し工藤壽樹 函館市長より開会の挨拶を行い、森昌文 国土交通省技監の来賓挨拶、名取哲哉 北海道建設部長の乾杯挨拶により交流会が始まりました。

道南の食材をふんだんに使った料理を並べたほか、函館近海産マグロの刺身や、地元の味のいかめし・塩ラーメンを振る舞い、また、地元のよさこいチーム「躍魂いさり火」の演舞で会場がさらに盛り上がりを見せ、参加された方々の交流がより深まりました。

会の終盤では、次期「ゆきみらい」の開催地である富山県富山市の植野芳彦 建設技術管理監に挨拶を頂き、「ふゆトピア・フェア」から「ゆきみらい」へと繋ぐ「カギ」の引継式を行いました。

結びは、今日出入 国土交通省北海道開発局長の挨拶で閉会となりました。



【挨拶】工藤 函館市長



【函館近海産マグロの振る舞い】



【乾杯挨拶】名取 北海道建設部長



【挨拶】森 国土交通省技監



【道南食材の料理】



【挨拶】今 北海道開発局長



【函館巴太鼓による和太鼓演奏】



【躍魂いさり火によるよさこい演舞】



【函館市から富山市へ カギの引継式】



【交流会の状況】

同時開催

函館アリーナ展示会場に隣接した同時開催ブースでは、本フェアの開催に併せて、地元の珈琲店や特産品店、開催地である函館市や次期開催市である富山市など、計10の企業・団体・官公庁が出展しました。



【日本除雪機製作所㈱】
小型ロータリー除雪車の室内展示



【函館美鈴珈琲】
来場者にコーヒーを振る舞い



【函館がごめ連合ねばねば本舗】
新函館名物がごめ昆布商品の販売



【開催地 函館市】
地元観光情報を発信



【次期開催地 富山市】
「立山あおぐ特等席。富山市」魅力発信



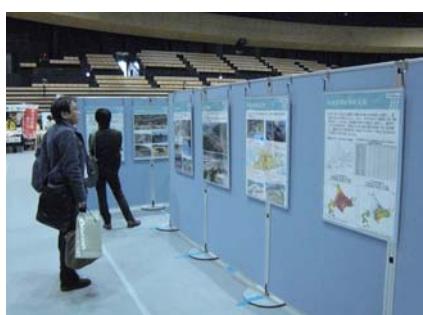
【北海道・道南いさりび鉄道】
北海道新幹線・道南いさりび鉄道パネル展



【土木学会北海道支部】
HANDS+EYESパネル展土木コレクション



【国土交通省北陸地方整備局】
北陸雪害対策技術センターパネル展



【国土交通省北海道開発局】
「平成28年8月北海道を襲った大雨災害」パネル展

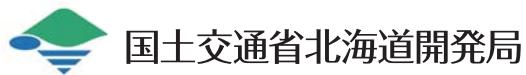


【シニックバイウェイ北海道推進協議会】Welcome!シニックバイウェイ北海道2017冬@ふゆトピア



それぞれの取組みを紹介するパネル展示や映像での紹介をはじめ、それぞれの地域の観光情報の発信や特産品・名産品等の物販が行われ、多くの来場者が楽しんでいました。

[主催] 2017ふゆトピア・フェアin函館 実行委員会



国土交通省北海道開発局



北海道



函館市

JCMA 一般社団法人 日本建設機械施工協会



公益社団法人 雪センター



一般財団法人 北海道河川財團



一般社団法人 北海道開発技術センター



一般財団法人 北海道道路管理技術センター



一般財団法人 北海道建設技術センター



一般社団法人 北海道建設業協会



一般社団法人 函館建設業協会



東日本高速道路株式会社 北海道支社



国立研究開発法人 土木研究所寒地土木研究所

[後援]

総務省、文部科学省、北海道経済産業局、北海道運輸局、気象庁札幌管区気象台、(一財)日本気象協会、(一財)北海道開発協会、
公益財団法人はまなす財団、(一社)寒地港湾技術研究センター、(一社)北海道土地改良設計技術協会、
(一社)北海道土地改良建設協会、ワインターライフ推進協議会、(一社)シニックバイウェイ支援センター、全国知事会、
全国市長会、全国町村会、全国積雪寒冷地帯振興協議会、全国雪寒都市対策協議会、北海道経済連合会、(一社)北海道商工
会議所連合会、北海道商工会連合会、(公社)北海道観光振興機構、函館商工会議所、(一社)函館国際観光コンベンション協会、
(公社)土木学会北海道支部、(公社)日本雪氷学会、日本雪工学会、(一社)日本機械学会、(一社)日本建築学会、(公社)日本都市
計画学会、(公社)農業農村工学会、JR北海道、北海道コカ・コーラボトリング(株)、(株)セコマ、(株)セブン-イレブン・ジャパン、
(株)日本政策投資銀行、(株)北洋銀行、朝日新聞北海道支社、毎日新聞、読売新聞北海道支社、日本経済新聞社札幌支社、
共同通信社、時事通信社、産経新聞社札幌支局、北海道新聞社、函館新聞社、北海道建設新聞社、北海道通信社、日刊建設工業新聞社、
日刊建設通信新聞社、NHK函館放送局、HBC、STV札幌テレビ放送、HTB、UHB、TVh、NCV函館センター、
AIR-G'エフエム北海道、FM NORTH WAVE、函館山ロープウェイ(株)FMいるか、(株)あるた出版

【お問合せ】

2017ふゆトピア・フェアin函館 実行委員会事務局(国土交通省 北海道開発局 開発監理部 開発調整課内)

☎ 011-709-2311 FAX 011-709-9215

ホームページ http://www.hkd.mlit.go.jp/kanribu/chosei/fuyutopia/top_hakodate.html

ふゆトピア函館

検索

